

特集

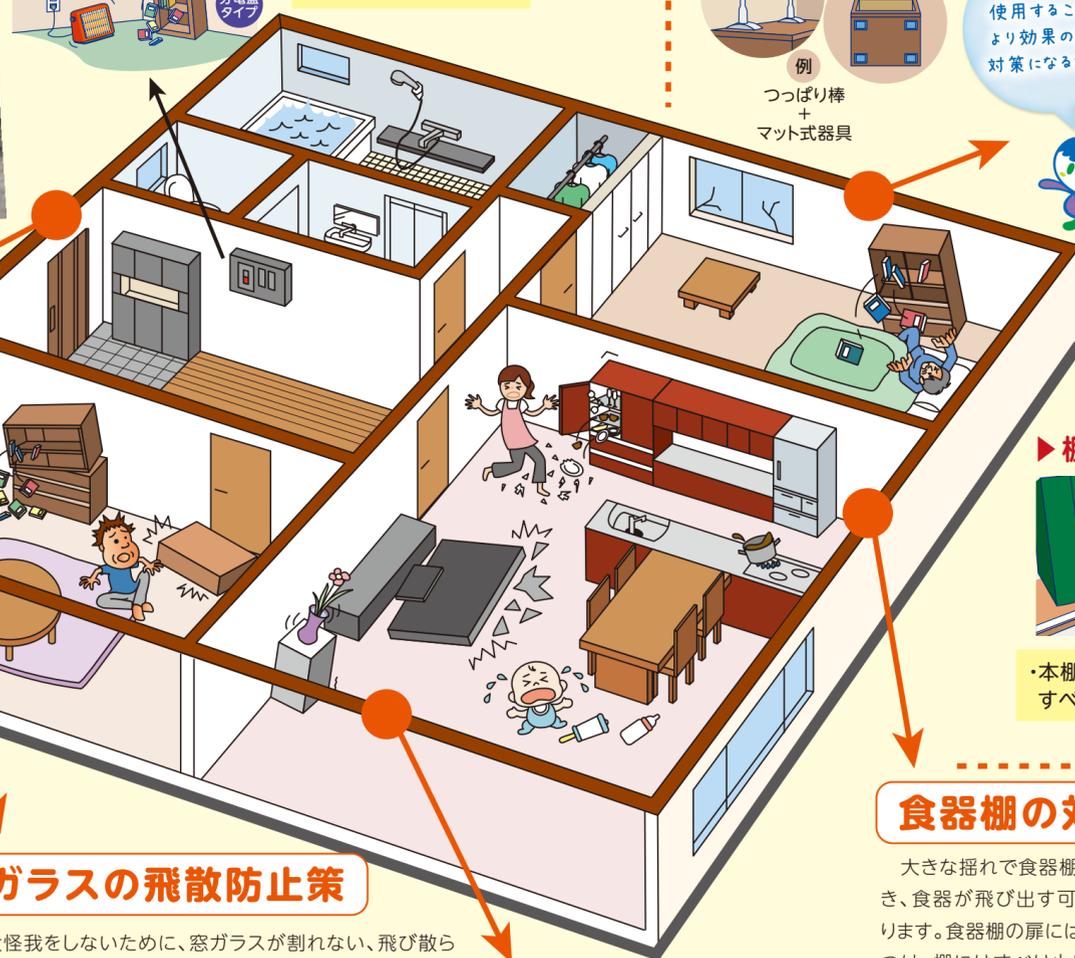
地震に備えた家庭内の対策

近年大きな地震が多く発生しています。
地震はある日突然発生します。日頃から家庭内の対策をすることで、地震が起こったその瞬間の身の安全の確保と、被災後も自宅での生活を継続することができます。
 家庭内でも必要なものを備蓄するとともに、家具転倒防止など安全確保や、対策を行って地震に備えましょう。

(写真出典:一般財団法人消防防災科学センター 災害写真データベース)

家の中の安全を確保しましょう

地震発生時に自動的に電気を遮断 ※電気に起因する火災の防止に有効です
 ・感震ブレーカーの設置



家庭内の備え

▶ 備蓄品・非常持ち出し品を用意しましょう

災害発生直後は、食料や日用品の購入が難しくなります。家族構成を考えて、必要な備蓄をしておきましょう。また、すぐ取り出せるところに非常用持ち出し袋を準備しておきましょう。備蓄する量の目安は**最低3日分**です。

家族構成や生活スタイルにあわせて、食料や日用品を少し多く買い備えて、備えたものを順番に使いながら新たに買い足していく循環型備蓄(ローリングストック)という考え方もあります。

横浜市 備蓄 で 検索

▶ 家に置いておくといい防災グッズ12品目

ライフラインが停止した際に自宅での生活をするために、次のような12品目の備蓄を推奨します。

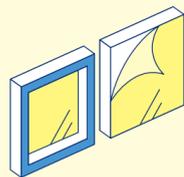


備蓄品は非常用持ち出し袋に入れて用意することで、家での生活が困難になったときに避難所へ持って行くことができるぞん。



ガラスの飛散防止策

大怪我をしないために、窓ガラスが割れない、飛び散らない対策もしましょう。



・飛散防止対策済みのガラスに交換するか、飛散防止フィルムを貼る



・昼間は薄いレース、夜間はカーテンを閉めておく

家具の転倒防止

大きな揺れが起きた時、家具の転倒によってその下敷きになって怪我をしたり、家具が避難経路をふさぎ、逃げ遅れてしまうなどの被害が考えられます。

家具が倒れないよう家具の固定をしましょう。また、転倒した家具が避難経路をふさがないように、寝室やリビングの家具の置く位置に気をつけましょう。

▶ 家具の固定方法



小 器具の効果 大 ※天井や壁の状況により異なります。



組み合わせることでより効果の高い対策になるぞん。

▶ 家具の置く位置



・寝る位置に家具が倒れてこないようにする

・扉がある位置に家具が倒れてこないようにする

▶ 棚の使い方

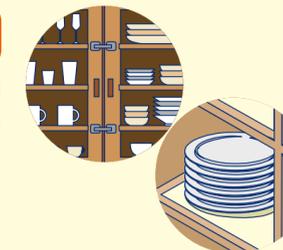


・本棚の前端に落下防止のすべり止めテープを貼る

・重いものを下に収納して家具の重心を下げる

食器棚の対策

大きな揺れで食器棚の扉が開き、食器が飛び出す可能性があります。食器棚の扉には留め金をつけ、棚にはすべり止めマットを敷いて対策をしましょう。



リビング内の対策

テレビは倒れることで、液晶画面が割れることが考えられますので固定します。また、花瓶など落下すると危険なものは家具の上に置かないようにします。



・長さ調整でしっかり固定する



・家具の上に置かない

・割れた食器やガラス破片で足の裏を怪我しないようにスリッパを用意する

乳幼児のための災害時の備え

～「災害時の備え」リーフレットを配布しています～

災害時には乳幼児のための備えが必要です。大人は我慢できても、乳児や小さな子どもはどのようにもならないこともあります。また、子どもを連れて地域防災拠点などの避難場所に避難する場合には、避難後の生活を想定して持ち出す物を準備しておくことが大切です。

泉区では、小さな子どものいる家庭向けに「災害時の備え」のリーフレットを配布していますので、ぜひご活用ください。

● 乳幼児健診、こども家庭支援課(2階211窓口)で配布しています。



園子育て支援担当 ☎800-2447 ☎800-2513

災害時のペット対策について

～「災害時のペット対策」パンフレットを配布しています～

横浜市では多数の方がペットを飼っており、災害発生時には、地域防災拠点等にペットと一緒に避難する人も相当数に上ることが想定されています。突然起こる災害に備えて、飼い主の明示や基本的なしつけ、避難用具の用意など大切なペットのために日頃から対策を考えておきましょう。

横浜市では、地域防災拠点や飼い主が日頃からできる災害時の対策などを「災害時のペット対策」のパンフレットにまとめています。

● 生活衛生課(3階314窓口)で配布しています。また横浜市ホームページからダウンロードすることもできます。



横浜市 ペット 災害 で 検索

園生活衛生係 ☎800-2452 ☎800-2516